

(2) 主な協力内容

本プロジェクトの協力期間は、59年12月から5か年間である。

技術協力の分野は、(次表)のとおりである。

分 野	内 容
林 地 利 用	土地利用区分のためのリモートセンシング技術の開発、 林地利用区分等
天 然 林 管 理	熱帯降雨林の森林生態、バイオマス調査及び野生動物 を含む天然林管理等
人 工 林 管 理	熱帯樹種の造林、病虫害、獣害、火災等の防除方法等
地 位 級 区 分	土壌調査及び土壌区分、土壌生産力等
アグロフォレストリー	アグロフォレストリーに関する環境調査、社会経済調 査及びアグロフォレストリー体系の改善等

本プロジェクトについても、研究の推進のため、協力期間中我が国は専門家をインドネシアに派遣するとともに、インドネシア国の技術者養成のため我が国での受入れ研修を実施するほか、研究推進に必要な機材（5年間で約2億5千万円）を供与する予定である。

本プロジェクトの具体的な推進についても林業試験場を中心とした研究機関並びに関係者の御協力によって行われることとされており、早ければ2月にも専門家が派遣される予定である。

新刊紹介

◎豊かな降雨林 (W. WEEVERS-CARTER: Riches of the Rain Forest. Oxford University Press, Oxford, New York. 1984. 103 pp.)

自然保護を考える場合、各方面の専門家が活動に携わるだけでなく、一般の人々はその重要性を認め、なおかつ、そこから自然保護の気運が高まることが大切であろう。筆者は、失なわれつつある熱帯降雨林に接し、その損失を憂う者の一人として、少しでも多くの人に豊かな降雨林に興味を持ってもらおうと、本書をかく。

したがって、単に生物学的興味の対象としてだけにとどまらず、現地の人々の生活に即した実用面にまで触れ、熱帯降雨林のもつ多様な魅力をやさしく紹介しようと努めている。ラフレンシアからフタバガキ林まで、いわゆるマレー植物区内に生育する、人目を引く代表的な植物のほとんどが、美しい挿絵とともに、記述されている。

本書は、見知らぬ熱帯降雨林を散策するためのガイドブックであり、よくできた旅行案内書が、旅の楽しみを倍加するように、豊かで不可思議な植物世界により深く親しむための手助けとなるだろう。

(阿部 健一)